

委員会活動報告:学術委員会

[報告者]

認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会 理事

東京大学 大学院医学系研究科 精神医学分野 大熊 彩子

当委員会は、2019年12月に研究活動推進委員会と臨床疫学ワークショップ委員会が合併し、発足に至った。両委員会は共に学術活動推進を旨とするものであり、より広い見地から有機的な活動ができるよう、当時の研究活動推進委員長であった中神由香子先生のリーダーシップのもとに統合された。以降、2020年は佐竹が、2022年からは大熊が委員長として継続的に活動を行っている。

■当委員会の立ち位置

当委員会は、下記の理念のもと活動を行っている。

Mission(当委員会の使命):

若手精神科医の学術活動を推進し、我が国の精神医学の発展に貢献すること

Vision(当委員会の成し遂げたい事):

- ・個人の能力向上と、それを実現するためのシステム構築
- ・組織・世代・専門を超えたネットワーク構築

Strategy(Vision 達成のための方法論):

- ・臨床疫学ワークショップ
- ・レビュー作成ワークショップ
- ・OBOGによるサポーター制度の設立
- ・具体的研究活動のコーディネート、立案、実施、報告
- ・定期的なプログレスミーティング

■実際の活動

1. 個人の能力向上とそれを実現するためのシステム構築

主として「臨床疫学ワークショップ」を開催している。

当企画は

- 臨床医学について疫学的手法を用いる臨床疫学、および統計学の基礎知識
- 臨床疫学的手法が用いられたエビデンスの解釈方法
- 臨床研究の計画および遂行についての方法論

等について、主としてワークショップ形式で学ぶことを旨としている。JYPOにおいてCADPに次ぐ歴史を持つ定期的な企画であり、2020年度で第16回の開催となった。ここ数年は講師数名を招いて指導を受ける形式で、午前中から夕方まで数時間実施している。参加資格はJYPO会員に限定せず広く精神医学に興味を持つ方を対象としており、参加費も数千円で収まるよう設定し、参加の敷居を高くしないことが重視されている。ここ数年の開催実績は下記の通りである。

○2017年度(第14回)@大阪大学 大会長:山田健生

講義「臨床疫学とは」(坂庭嶺人先生:大阪大学医学系研究科公衆衛生学教室)

講義「臨床研究の立ち上げから英語論文の発表までを最速最短で行うための極意」(原正彦先生:大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科)

ワークショップ「統計ソフト(EZR)でデータ解析をしてみよう」(阿部計大:東京大学大学院 公衆衛生学教室 博士課程)

○2018年度(第15回)@京都大学 大会長:安藝森央

講義「精神科臨床をよくする臨床研究の最先端とさらにその先」(古川壽亮先生:京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康増進・行動学分野 教授)

ワークショップ「RCTの批判的吟味を元にした臨床研究のコツと実践」(田近亜蘭先生:京都大学大学院医学研究科 精神医学講座 助教)

講義「医療リアルワールドデータやライフコースデータを用いた臨床研究による新たな健康社会にむけて」(川上浩司先生:京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 薬剤疫学分野 教授)

○2020年度(第16回)@オンライン(Zoom) 大会長:佐竹祐人 参加者 43名

「デザインが研究の質を決定する」(福原俊一先生:京都大学 特任教授)

ワークショップ①「CQをRQに構造化する」(小川雄右先生:京都大学大学院 医学系研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 特定講師)

ワークショップ②「臨床と研究のための文献検索」(同上)

○2022年度(第17回)@オンライン(Zoom) 大会長:大熊彩子

ワークショップ「CQをRQに構造化する」「臨床と研究のための文献検索」(小川雄右先生:京都大学大学院 医学系研究科 医療疫学分野准教授)

講義「研究の実践」(宋龍平先生:岡山県精神科医療センター)

当委員会はワークショップを継続して実施していくことで、臨床研究について学ぶ場を提供すると共に、臨床研究から得られるエビデンスの重要性を主張していくことを目標としている。

2. 組織・世代・専門を超えたネットワーク構築

JYPOは在籍期間が6年と短く、かつ「若手」精神科医の集まりであることから、在籍中の学術的な成果を追い求めることを重要視しすぎると、会員の各施設での修練を妨げることにつながりかねない。

むしろJYPOでの活動を通じて成長し、その後の各施設での研究遂行時にJYPOの力が発揮されるような継続的な支援が得られることが望ましい。JYPO卒業生には臨床のみならず学術面でも活躍されている先生方が多くおられる。当委員会は、そうした先生方と現役会員の結びつきを強め、JYPO卒業後も医局を超えた有機的なつながりを作ることで、日本の精神医療に資することを目指している。

■活動メンバー 五十音順(○が委員長)

安藝森央 (公立豊岡病院組合立 豊岡病院)

- 飯島由佳（復旦大学上海医学院臨床医学科）
- 大熊彩子（東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野 ）
- 倉持泉（埼玉医療センター、埼玉医科大学、Mara hospital Bielefeld University, Germany）
- 佐竹祐人（大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室）
- 出利葉健太（江別市立病院）
- 六田泰央（公立豊岡病院組合立 豊岡病院）
- 山口博行（国立精神・神経医療研究センター）